

人間社会学部

試験問題冊子

(3月入試 3月11日)

国語

注 意

- ① 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開かないこと。
- ② 問題冊子に落丁、乱丁があった場合は、試験監督者に申し出ること。
- ③ 試験監督者が試験開始の指示をしたら、ただちに解答用紙の所定欄に、受験番号を記入し、マークすること。
- ④ 解答は全て解答用紙に記入すること。
- ⑤ マーク式解答欄の指定された箇所以外は使用しないこと。
- ⑥ 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

注意 解答はすべて各問の下端の□内に指示された解答欄にマークすること。
なお、解答欄のうち、この試験で使うのは、マーク式解答欄の114のみである。

問題一 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

人間の友人・知人関係のつながり方は、いまだによくわからないことが多い。

関係は目に見えないからだ。目の前の恋人や家族の存在は確かな実体としてわかるが、彼らの持つ交際関係は不可視であり、友人の数も交際の範囲もよくわからない。とはいえ、人間関係というのは社会の不可欠な構成要素である。旅先で一人、未知の人々のあいだを通り過ぎていく感覚は快感ではあるが、ある程度の深みを持った安定的な他者との関係は、安心感につながるし、かけがえがない。

震災や気象災害後の一人住まいの高齢者の事故死や独居老人の孤独死など、誰かがそばにいれば防げたであろうと思われる痛ましい事件も多い。長年、スーパーアイドルとして業界の期待と投資を一身に受けてきた男性タレントが、深夜の公園できわめて非合理的な奇行を行うなどといったことも、誰か一人、判断力のある人間がそばにいれば簡単に阻止できたはずだ。この件に限らず、悲しい犯罪が起こり、犯罪者が検挙されるたびに私が思うのは、誰か一人、誰か一人で良いから、この人を愛し、守り、正し、支える人がそばにいなかったのだろうかということだ。一方でそういう誰か一人を求めているながら、そういう誰か一人に出会えないことを原因とする犯罪も増えつつある気さえする。

良き人間関係には、抑止力があるのだ。そして良き人間関係の欠如は、暴走を生みやすい。大阪には日本一長いといわれる天神橋筋商店街があり、商店街活性化のモデルケースとたたえられ海外からも見学者やテレビ取材がくる。その顔役の方に、「私たちは通る人をよく見ている。学校に行く子ども、おばちゃんやおじちゃんを見る。そうしてつながりを大事にしている」という趣旨のお話をうかがったことがある。

商店街の人々は、いわば農家と同じであり、開拓者ではない。農家は、土地に生き、常にそこに居ながら、明日、来月、そして翌年の収穫へ夢を託す。開拓者は、地平線の向こう、その先の土地へ土地へと、先の空間にあるはずの幸福を信じる。この2種類の人間のあり方は、人々の人間関係形成にも色濃く反映すると私は考えている。

自分の場を決め時間をかけて、人との関係を継続的に育てあげ蓄積していくタイプと、移動しながら場所を変えながら、人との関係を入れ替えていくタイプである。どちらが良い、悪いと判断はできないが、両者には大きな違いがある。人は成長し、変わる。それを信じて、継続を最優先する人間関係もある。人はいずれ去る、そして新しい人がまた来る。それを信じて、その時々^イの充足を最優先する人間関係もある。人間は、友人の選択や関係継続について、それぞれ無意識のレベルで自分なりの原理原則を持っているのだろう。

ところで、日本人の平均世帯人数は2・55人（2005年）だが、いったい、日本人は1人あたり何人くらいの知人がいるのだろうか。たとえば、ある自治体の住民のうち、

互いに知り合いである人々は何割くらいなのか。平均して、住民1人あたり、自治体内に知り合いが何人いるのか、そのうち、万一の時に助け合える関係の人は何人いるのか。万一とはいわなくとも、困ったことを相談したり、病気になった時に家事雑事を手伝ってくれる人はどのくらいいるのか。こういった日常のサポート関係のあり方や、知人の数は、地域の活性化や介護制度の設計には必要不可欠な基礎的データであるにもかかわらず、これらの問いに対する正確な回答をいまのところ、社会科学は出せていない。

過去50年ほど、学問的に検討されてきたのは、人間は一般的に何人くらいの人を知っているのだろうかという「知人数の推定問題」と、知人の知人が知人である確率がけっこう高いのはなぜかという「a」世界の問題」だ。前者は、日本人は平均何人の人を知っているかをアンケート調査で調べるものであり、約150人という数値があがっている。もつともこれは同じ手法で調査した米国人の平均知人数200〜300人を大きく下回る。後者は、すでにあちこちで紹介されている、未知の人をターゲットに設定し、知人のみを介して、手紙を渡していくと、せいぜい5、6人を介せばターゲットに到達できるという実験であり、1998年に、『ネイチャー』に掲載されたわずか3ページ足らずのシミュレーション論文で有名になった。

両テーマともややオタク研究の感が無きにしも非ずだが、紫式部の助動詞研究と一緒で、こういうディープなネタに首をつっこんでいる研究者の話は非常に面白い。日本にも「a」世界オタク」とも呼べそうな研究者は数人いるが、私も彼らとなら、このネタを肴に5時間でも6時間でも、いや一晩中、語りあかせる自信はある。

さて、現実の人間関係の全体像は、誰にも俯瞰できない、言わば「b」である。ネットワークの全体像をわれわれはホールネットワークと呼ぶのだが、いかなるネットワークであれ、全体構造を完全な状態で抽出することはきわめて難しい。もし、小さな都市や自治体の住民全員の相互関係——ホールネットワークがわかれば、これはすごいことだ。先の都市住民の助け合い関係の例でいえば、都市社会学の分野で、住民個人を対象として、いざという時にサポートしてくれる関係にある知人数などを尋ねるサンプル調査がなされることはあるが、数千人、数万人規模の友人・知人の相互連結ネットワークの全体像などはまったく明らかにされたことがない。

もし仮に人々が持つ知人関係や交際関係のネットワーク構造の情報があれば、その範囲内での商品の普及過程や流行現象の解明、^ウ疾病の伝染予防などに役立つことは間違いない。2009年の新型インフルエンザの感染経路の複雑さは、世界各国の人々の交流ネットワークの複雑さを反映しているにすぎない。この新型インフルエンザが弱毒性であったのが不幸中の唯一の幸いであり、明らかにこのウイルスは、感染症は空港検疫により水際で阻止できるものではないことを示している。接触感染後にペンキでもついたかのように目に見える痕跡が残らないかぎり、私たちが誰とどこで出会い、すれ違い、一定距離内で接触をしたかは、目に見えないのである。友人関係や知人関係の地図があれば、口コミを自在に巻き起こして商品を爆発的に流行させたり、感染症の拡大を防ぐために人間関係を細分化させたりすることさえできるだろう。

c、繰り返しになるが、現実社会の人間関係は目に見えず、自分の知人関係も、他人の知人関係も、その重複程度も明らかではない。日本人全体がどうつながっている

か、その全体構造がわからないのは言うまでもない。

(安田雪『つながり』を突き止める)

問1 傍線部ア「良き人間関係には、抑止力がある」とあるが、本文に記載されたその具体例として最も適切でないものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

1

- ① 良い人間関係を持っていれば、旅先などで一人でいても快適である。
- ② ある程度の深みのある安定的な他者との関係は、安心感につながる。
- ③ ひとり住まいの高齢者の事故死や孤独死など、痛ましい事故が多い。
- ④ 信頼できる人と出会えないことで発生する犯罪が増えつつある。

問2 傍線部イ「この2種類の人間のあり方は、人々の人間関係形成にも色濃く反映する」ことの説明として最も適切でないものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

2

- ① 農家型の人は、一定の場所で人間関係を継続しようとする。
- ② 農家型の人は、人間関係の中で相手の成長や変化を見守り続ける。
- ③ 開拓者型の人は、理想的な人間関係を手に入れるために放浪する。
- ④ 開拓者型の人は、他者との出会いと別れとを繰り返す。

問3 空欄 a に当てはまる語として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

3

- ① 未知なる
- ② デイープな
- ③ 複雑な
- ④ 小さな

問4 空欄 b に当てはまる語句として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

4

- ① 見えない連鎖
- ② 完全な相互連結
- ③ 不可侵の人間関係
- ④ 声なき地図

問5 傍線部ウ「疾病の伝染予防などに役立つ」理由として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

5

- ① 伝染病の拡大状況が口コミを通して事前に察知できるから
- ② 空港以外での多様な検疫により伝染病の拡大を阻止することができるから
- ③ 人間関係のネットワークは伝染病の拡大経路と同様に複雑であるから
- ④ 人間関係のネットワークを分断することで感染症の拡大を防止できるから

問6 空欄 c に当てはまる語句として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

6

- ① 言い換えれば
- ② したがって
- ③ にもかかわらず
- ④ これに加えて

問7 本文の趣旨に最も合致するものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

7

- ① 良好な人間関係は健全な社会に欠かせない構成要素である。
- ② 人間関係は目に見えず、その全体構造はまだ把握できていない。
- ③ 日本人は米国人に比べて平均知人数が少なく、人間関係が濃い。
- ④ 人間関係のネットワークを把握して社会に活かすことが必要である。

問題二 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

たしかにイギリス人は犬を躾けることが上手である。私の家の前が英国大使館付海軍武官の公邸だということは前に書いたが、三年ごとに交替するどの家族も、必ず犬を連れてくる。もう七、八家族替ったと思うが、来る犬来る犬が実に見事と言う他ないほど行儀がよい。

家の中で不必要に吠え立てたり騒いだりすることがないどころか、主人と連れ立って散歩する時でも実におとなしい。よその犬と行会っても吠えもしなければ駆け寄ることもしない。主人の傍について前を見てただ黙々と歩いて行く、勿論引綱も鎖もなしである。

これに比べると日本人の犬は、こちらが恥ずかしくなるほど滅茶滅茶である。跳びかかったり、吠えたり、大きな犬の場合など主人が押えるのに苦勞する。犬に引かれて、小走りになる人も多い。狭い道で、犬をつれた日本人同士が出会う時がこれまた面白い。小さな弱そうな犬をつれた人は、横道にそれたり、引返すことさえある。女の人などは、つれてくる小さな犬をかばって抱き上げ、足早に通りすぎて行くこともしばしばである。イギリス人の手にかかる、犬は、シェパードでも、バセットでも、ダックスフント、テリア、セッターでも、まるで特別な種類の犬かと思うほど静かに主人について行く。全く見事という他はない。

日本人はとにかく犬に甘い。犬にすっかり舐められている。イギリスで良く訓練された犬でも、日本に来て二、三年も日本人に飼われると、すっかり手におえなくなってしまう。

このような顕著な違いは一体何が原因なのだろうか。私の考えでは人間と動物の相互の位置づけが、イギリス人と日本人では全く異なることに起因していると思う。

日本人は、犬、猫そして馬のような家畜を人間の完全な支配下に位置するもの、人間に隷属する存在とはみなしていない。もちろん、このような動物を世話し、餌をやり、利用するために殺すというような外見的な面では日本とイギリスでも、さほど目立つ相違はない。ただ家畜というものが、人間にとってどんな位置を占めるものかという見方がまるで違う。

日本人にとって、犬はそれ自体自由な、a的な存在なのである。日本人のペットとか家畜という概念は、このような本来的には相互に独立した主体的な存在としての人間と犬が交差したところに成立している。実際ごく最近まで犬をつないでおくとか囲いに入れておくという習慣は日本にはなかった。犬はあたりを自由勝手に歩き廻り、残飯やごみをあさる。

勝手口に現われる犬に餌を与えているうちに、いつのまにかうちの犬になる、こともしばしばであった。二軒以上の家で同じ犬を、うちの犬だと思っていたなどということもあった。また犬は家の人の知らぬ間に、縁の下などで子供を生む。これも犬の勝手である。ところが家人にとっては、いりもしない厄介者をしよい込むことは困る。こんな場合に、犬を最も人通りの多い橋のたもとなどに捨てに行くのだ。

捨てる人は、いらぬ犬を自分の生活圏から遠ざけて、必要なかわりを絶つことだけが目的で、その犬を何も殺すことはないのである。人通りが多ければ、誰か仔犬を欲しい人がいて、拾って行くかも知れない。事実、多くの家で犬を飼うようになるいきさ

つは、子供が拾ってきたから、しょうがない置いてしまったというのが多かった。

イギリス人は家畜とは人間が完全に支配すべき、それ自身は a 性を持たない存在と考えている。人間が人間のために利用する隷属的な存在であるから、逆に一切を面倒見る責任が人間にある。不用な犬や、回復の難かしい病気に罹った犬を、自分の手で殺すのは、生きるも死ぬも支配者としての人間が決めてやるべきだという考えに基いている。

b 日本人のように、犬を捨てたりすると、人間としての責任をはたしていないと非難するのだ。従って彼等にとつては、犬を安楽死させることが正しい犬の扱い方となる。一口に言えば、徹底的な人間中心の動物観なのである。何が残酷で何が残酷でないかは人間の決めることなのだ。だから一般にヨーロッパ人の残酷という概念は温血動物止りなのである。

そこで日本で犬が捨てられるといつて、犬のために悲しむイギリスの婦人も、大エビは生きたまま熱湯に投込んで料理するのが一番味がよいと言って平然としている。c 食べるためでなく、楽しむために魚を釣るのも残酷ではないのだ。大きなカジキと何時間も海の上で全力を尽して戦うことは素晴らしいスポーツなのであつて、魚が苦しむだろうと考えるのも同じ理由である。

もちろんイギリス人でも日本人でも、一般の人はいま述べたような動物観、生命観をはつきり意識しているわけではない。きけばいろいろと理屈づけはするだろうが、人々を無意識に動かしている基本的な価値体系の枠組というものは、実は深くかくれているのである。

日本の南極観測隊が、氷にとじ込められてヘリコプターでやっと脱出した時、連れて行った樺太犬を置き去りにしてきたことがあつた。この時も日本は勿論、外国からも非難の声が上がったことを覚えている方もあるだろう（南極のエコロジーの破壊を考えていないという非難は、それなりに正当なものであると私は思うが、ここではその点は考慮外とする）。

隊員たちは、ただ可愛がつていた犬たちを殺すに d ^ウのびなかつたのである。誰も犬どもが翌年まで生きのびようとは考えなかった。d 殺す気にはなれないのだ。ところがどうであろう。翌年観測隊が再び昭和基地を訪れたとき、二頭が生存していたのだ。殺さなくてよかったと隊員たちは思ったにちがいない。人間本位、人間中心の家畜の始末法とは違い、ここでは日本人の動物処理法の方が勝つたのである。少なくとも、犬の幸福を中心に考えればである。

はじめに日本人が犬を躰け、意のままに服従させることが、英国人に比べていかに下手かということを詳しく例証したが、こうしてみると、日本人はもとも犬をとことんまで支配する気がないのである。支配して完全に人間に隷属させるべきだと思っていなから、支配しようとしただけのことである。言い換えると、犬に、言うことをきかせるのはどだい無理だと思っているのである。

日本人にとつても、飼う以上は主人の意のままになり、言うことをきく犬は、都合がよいにきまつている。しかしこれは人間の側の希望であり期待であつて、そうさせることが主人としての人間の犬に対する義務であり責任だと私たちは思っていない。まして、そのように犬を躰け扱うことが犬の幸福にも通じるなどという、犬にとって或る意味で

は迷惑千万な人間本位の立場は元来日本人にとって無縁のものであったのである。

もちろん或る文化、或る民族に固有な動物観とは固定的決定的なものではなく、また内容も単一明快なものでもない。イギリス人が犬を完璧に近いほど躰けられる原因の一つには、古くからかなりの牧畜文化を所有していたため、家畜の扱いに馴れていることも数えることができよう。また気候風土の関係で、犬と人間が閉鎖的な家屋の、一つ屋根の下に住む必要があったため、厳しく躰けなければ、人間の生活が乱されてしまうからだとも考えられる。

これに対し日本人は問題とするに足るような家畜文化も持たなかったし、家屋も開放的であり、高温多湿のため犬と同居することは、必要でもなかったし得策でもなかった。したがって人間と犬が狭い空間を共有することからくる共存のパタンを生み出しにくかったのであろう。

また宗教的な理由も一役買っているに違いない。キリスト教は周知の如く動物には魂を認めないが、日本人の古来の宗教は、アニミズムやシャーマニズムの要素が強く、そこに加重された仏教には輪廻の思想もある。

このような彼我の世界観の違いは一言にして言えば断絶^エの思想と連続の思想の対比である。前者の立場に立てば、人間の優位は決定的であり、後者の立場では相対的なものでしかない。

イギリス人にとって残酷とは、人間を中心とし原点とした立場から、それぞれの動物に彼等が割当てた役割にふさわしく、その動物を扱わない場合に生ずる概念であるらしい。日本人にとって残酷とは、無益無用の殺生につながる概念であろう。

(鈴木孝夫『ことばと文化』)

問1 傍線部ア「日本人はとにかく犬に甘い」と筆者が考える理由として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

8

- ① 日本人は犬を可愛がりすぎるから
- ② 日本人は犬を人間に従わせようとしないから
- ③ 日本人は犬の躰の責任を負おうとしないから
- ④ 日本人は犬が思い通りになることを望むから

問2 空欄 a に当てはまる語として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

9

- ① 自発
- ② 自覚
- ③ 自主
- ④ 自律

問3 空欄 b d に当てはまる語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

10

- ① b また c それでも d だから
- ② b それでも c また d だから
- ③ b だから c また d それでも
- ④ b だから c それでも d また

問4 傍線部イ「ヨーロッパ人の残酷という概念」とあるが、ヨーロッパ人が残酷と思う事例に当てはまる具体例として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

11

- ① 飼えない仔犬を人通りの多いところに置いてくること
- ② 犬を過酷な環境下に置き去りにするくらいなら殺すこと
- ③ エンターテインメントとして変温動物の狩猟を楽しむこと
- ④ 不治の病に侵された犬の延命措置を止めること

問5 傍線部ウ「しのびなかった」の一般的な意味として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

12

- ① がまんできなかった
- ② 余裕がなかった
- ③ 許せなかった
- ④ 潔しとしなかった

問6 傍線部エ「断絶の思想と連続の思想」の説明として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

13

- ① 規律をもつて接する考え方と、慈愛をもつて接する考え方
- ② 主従関係の考え方と、相互に主体的な存在であるとする考え方
- ③ 西洋の個を重んじる考え方と、東洋の和を重んじる考え方
- ④ 動物を利用しようとする考え方と、動物と共存しようとする考え方

問7 本文の趣旨に最も合致するものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

14

- ① イギリス人の人間中心的動物観は、温血動物以外については動物愛護の精神に反する。
- ② イギリス人と日本人は、それぞれに特有の動物観・生命観を意識して犬に接している。
- ③ 動物に対して何が残酷かの考え方は、その文化における動物の位置づけによって異なる。
- ④ ある文化に固有の生命観の内容は不変であり、言葉の意味から紐解くことができる。

(以上)